

外部評価
実施日 令和5年3月15日

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・事業所の 特徴	博愛福祉会として、市内3か所の小規模多機能型居宅介護事業所をはじめ、看護小規模多機能居宅介護事業所、認知症対応型デイサービス、デイサービス、訪問看護事業所、定期巡回随時対応型サービス事業所、高齢者住宅、居宅介護支援事業所等を展開し、切れ目のないサービス提供を行っています。また、利用者・家族の要望に柔軟に対応するとともに、残存機能の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護ゆとり庵尾上	管理者	浅井貴史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	2人	人	1人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービスの質の向上を図るためにも、定期的なミーティングを実施し、支援に役立てる仕組みづくりを行っていききたい。	定期的なミーティングの開催や状態に合わせたサービスの変更等柔軟に対応することができた。	コロナ禍、事業所の状況が確認しづらい状況ではあったが、対面での報告を通じて確認できやすくなった。来年度事業所見学等出来たらと思う。	ご利用者が何がしたいのかの把握を行い、目標設定や自己実現の尊重に取り組む。また、スキルアップ等を目指して研修の参加増加に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業形態に見合った環境整備を心がけ、ご利用者はもちろん、地域の方にも訪問していただきやすい雰囲気づくりに取り組んでいきたい。	面会や見学等の受け入れも行き、出入りしていただける体制づくりは行えたが、ソフト面やハード面含め訪問しやすい環境作りには課題が残っているように感じる。	外部の方が訪問しやすい環境づくり、ご利用者の方が落ち着いて過ごせる環境づくりを心がけて取り組まれているか。	明るい環境づくりを心がけ、来訪しやすい事業所づくりを目指す。また、ご利用者にも安心して過ごしていただける環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き行事やイベントへの参加、事業所にて行う行事への招待も検討しながら、開かれた事業所作りを目指していききたい。	会議やイベントの再開等もあり、参加できるものには参加することができた。しかし、大人数が集まる環境や事業所へ招いての活動に関してはコロナ禍自粛傾向もあった。	職員の働き方等で地域活動への参加が困難であったり、限られてしまうと思われる。今後認知症カフェ等の開催に伴い、関わりが増えて行くことを期待している。	会議や地域のイベント等に引き続き参加を行いながら、出来る限り多くの職員に地域との関わりをもってもらえるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	通い慣れた場所や行きたい場所等の情報収集を行い、地域への外出支援が行えるよう実施する。	買い物支援や散髪、受診送迎を通じ継続して通うことができた。しかし、コロナ禍の影響や情報収集の不足もまだまだある状況であった。		やりたいことや行きたい場所の把握を行い、地域資源の活用や外出ができ、楽しみや喜びを持っていただけるよう取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	引き続き、地域情報や事業情報等を発信できるよう取り組み、地域での困りごと等の情報共有も行き、取り組んでいきたい。	コロナ禍、地域の場所を借り感染対策を行いながら、対面にて運営推進会議を再開し、情報共有が行えた。	対面で開催され、情報の共有を行うことができた。	引き続き情報共有を行いながら、事業所見学の実施等状況を見ながら取り組みを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	必要な防災訓練等の対策を継続しつつ、地域の防災活動や協力体制等、出来ることを模索していききたい。	災害時のBCP等の作成をはじめ、定期的な消防・防災訓練の実施を行えている。地域の活動や協力体制の構築にまでは至らなかった。	例えば、地域の消防団との連携や防災訓練への参加等試みてはどうか。	防災・災害対策や訓練の共有を行い、協力体制の構築を図れる取り組みを行う。